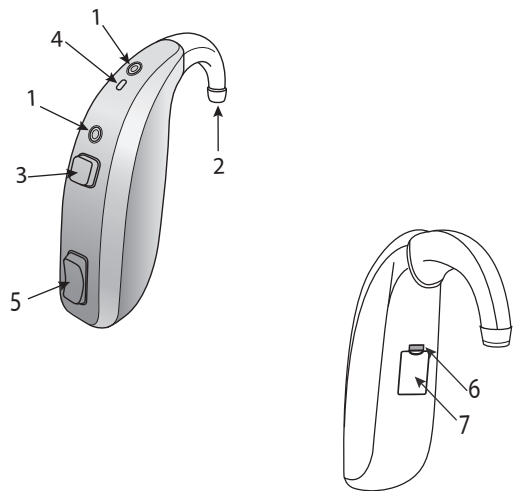
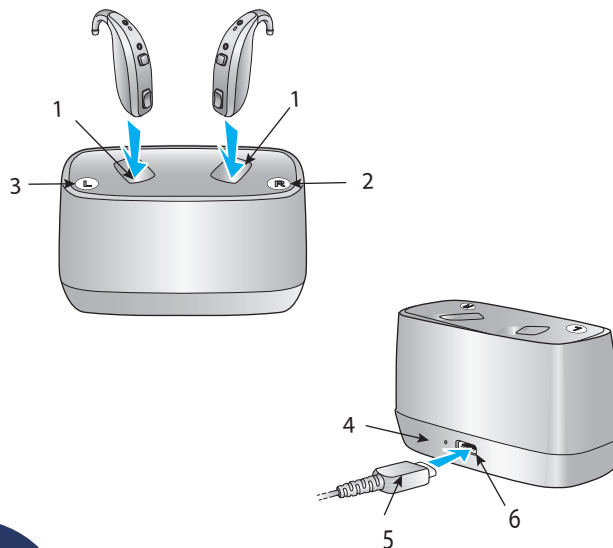


リチウムイオン補聴器充電キット Belton Boost Max S



1. マイク（音の入り口）
2. フック
3. プログラム切替えボタン
4. 補聴器動作確認用LEDライト
5. ボリューム
6. 左右識別マーカー
7. シリアルナンバー

補聴器 各部名称



1. 補聴器充電用スロット
2. 左右識別マーカー（赤=右）
3. 左右識別マーカー（青=左）
4. 通電確認用ランプ
5. 充電用 USB-C ケーブル*
6. 充電用ケーブル差込口

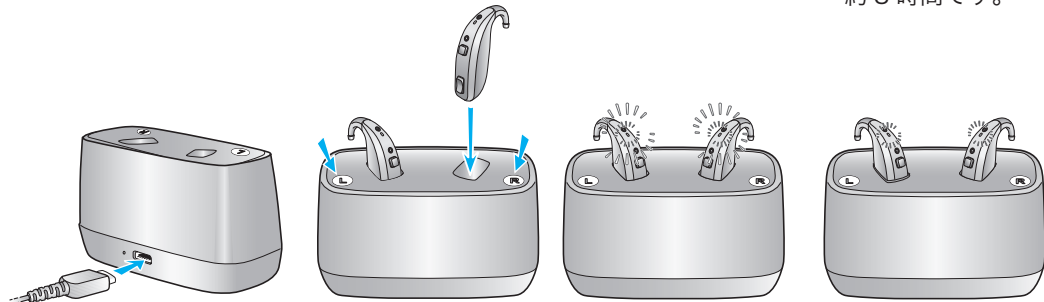
※ 充電用USB-C ケーブルは動作不良や、故障の原因になる可能性がありますので同梱されているケーブルをお使いください。

充電器 各部名称

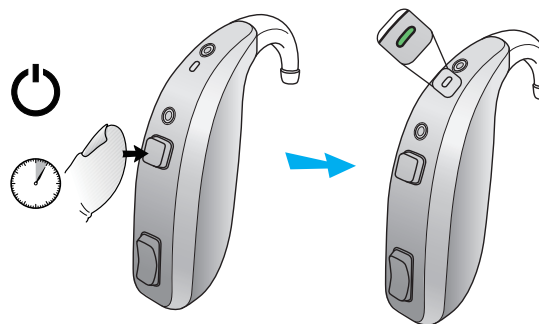
充電開始・完了

※ デスクトップ充電器は、充電器本体に蓄電池は入っておりません。USB-C ケーブルをコンセント等に差し込んでご使用いただけます。コンセントやパソコンのUSB 端子等、電源に差し込まれていないと、補聴器には充電されませんのでご注意ください。

1. 充電器にケーブルを差し込み反対側をコンセント等に差し込んで充電できるようにします。
2. 充電器に補聴器をセットします。右左は充電器上赤青のマーカーで確認します。
3. 充電が始まると補聴器の動作確認ライトが点滅を始めます。
4. フル充電されると補聴器の動作確認ライトが点灯します。充電完了までは約3時間です。



ランプの状況

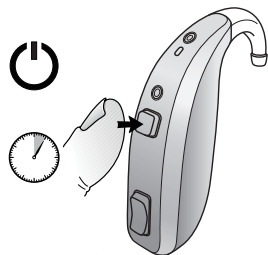


動作	LEDライトの状態
電源オン	1 回長めの点滅
電源オフ	3 回点滅
フライトモード	2 回点滅 4 度繰返し



1. 電源のオン・オフ

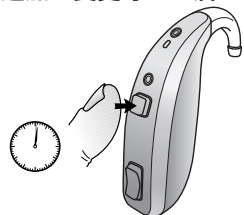
通常、充電器へ補聴器の出入れをすることでオン・オフができますが、補聴器使用中にも電源を操作したい場合は、メモリーボタンをオン・オフとも5秒間長押しします。この時、補聴器のLEDランプがオンの時は1回長めの点滅、オフの時は3回点滅します。



補聴器の操作 1

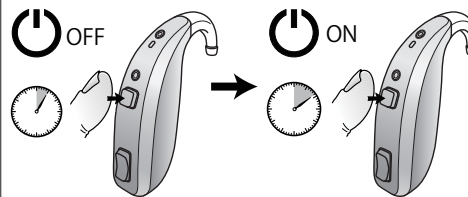
2. メモリーの切り替え

聴こえや聴取環境に応じて、メモリーを最大4つまで設定でき、メモリーボタンで呼び出せます。電源が入った時には必ず1番目のメモリーが出るように設定されています。初期設定ではボタンを片耳装用は短く、両耳装用は右耳を1秒長押しごとにメモリー2⇒3…と変更され、その時に「ポーン」の確認音が何回かで何番目になったかの確認ができます。またボタンを2秒間押すとワイヤレス機器モードへ切り変わります。
※ 追加・変更等はお店での設定が必要です。



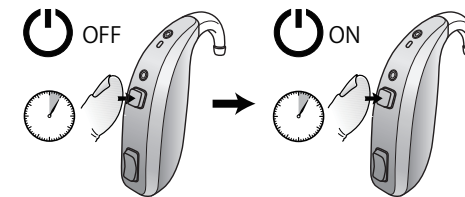
3. フライトモード設定

電波の使用や発信を禁じられるような場所に行く場合、「フライトモード」に設定していただく必要があります。メモリーボタンにて電源をオフにした後、今度はボタンを9秒間長押しします。「ポポーン ポポーン」と10回聞こえてくるか、LEDランプが2度点滅を4回繰り返せば設定完了となります。



フライトモードを解除したい場合については電源をオフにした後、再度オンにします。(電源操作の仕方については「1. 電源のオン・オフ」をご参照ください。)

※ フライトモードを使用する場合は、お店にてソフトでの設定が必要となります。



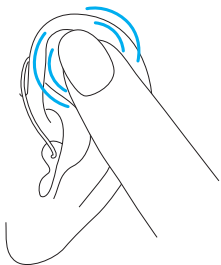
補聴器の操作 2

補聴器の操作 3

4. タップコントロール

補聴器装用中に電話がかかってきた場合は電話を操作せずに、外耳上部または補聴器を2回タップすることで通話が可能です。

※ 変更するにはお店での設定が必要です。



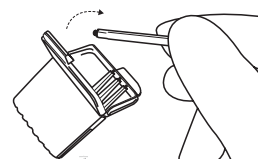
5. 電池残量警告音

補聴器を使用中、ワイヤレス機器を使用中に電池残量のお知らせ(警告)音が出ることがあります。しばらくすると、ワイヤレス機器が使用できなくなったり、補聴器から音が聞こえなくなるため、できるだけ早めに充電を行ってください。

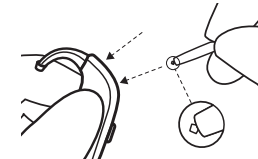
充電残量	お知らせ音	補聴器	ミニリモコン	TVストリーマー ボイスリンク マルチマイク+ テレビリンク スマホアプリ
充電多		○	○	○
充電少	♪♪♪♪	○	○	X
要充電	♪♪♪♪	X	X	X

※ 聞こえにくくなる原因のひとつにマイク孔の汚れや詰まりがあります。定期的な交換が必要です。

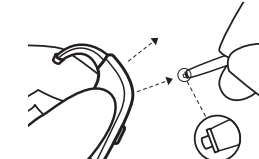
マイクフィルター交換



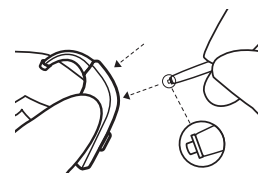
先端にマイクフィルターのついた治具を一本取り出します。



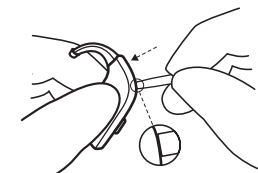
何もついていない方をマイク孔のマイクフィルターにさし込みます。



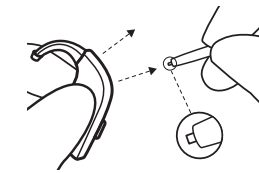
まっすぐひっぱると、マイクフィルターが抜けてきます。



新しいマイクフィルターがついている側をマイク孔にあわせませす。



そのままマイク孔にさし込みます。



治具をひっぱりマイク孔にマイクフィルターが残っていれば完了です。